

## J:COM MOBILE で BASIO active2 を 9 月 4 日発売開始 デジタルデバイド解消を目指し、シリーズ初「おサイフケータイ®」機能を搭載

JCOM株式会社（J:COM、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：岩木 陽一）は、モバイルサービス「J:COM MOBILE」の新商品として、シャープの「BASIO active2」（以下、本端末）を、2024年9月4日（水）より提供開始します。



BASIO active2

行政サービスのデジタル化や特殊詐欺の多発など、スマートフォン（以下、スマホ）を取り巻く社会環境の変化に伴い、J:COMではシニア世代のデジタルデバイド解消を目指し、スマホ教室の開催や誰でも安心して便利にスマホを利用できる環境づくりに取り組んでいます。本端末は、シニア世代向けスマホ機種「BASIO active」の後継機として提供します。

### <BASIO active2の特長>

#### ・スマホがマイナンバーカードの代わりに

BASIOシリーズで初めて「おサイフケータイ®」機能を搭載。「スマホ用電子証明書搭載サービス」に対応し、印鑑登録証明書のコンビニ交付サービスなど、役所に行かずにスマホで行政手続きが簡単に行えます。交通系ICカードサービスも利用できるので、キャッシュレスで安心・便利にご利用いただけます。

#### ・AIにお任せで誰でも写真が簡単きれい

「AIオート」では夕景や花火など、最適な撮影モードを自動で判別して撮影。動画撮影と同時にキレイな構図の写真を自動で抽出する「AIライブシャッター」も搭載し、誰でも簡単に撮影ができます。

#### ・迷惑電話対策機能

未登録の番号からの着信には、注意喚起のメッセージを表示し、代理応答と通話録音を行います。また、不審な電話は、通話後すぐにブロックを選択すると、次回から着信拒否も可能です。本端末は、全国防犯協会連合会の優良防犯電話として推奨されています。

デジタル時代のあたらしいサービスを、全世代どのお客さまでも、あたりまえにご利用いただける未来の実現に向け、J:COM はこれからも安心、快適を支えるモバイルサービスを提供してまいります。

## 参考

### ■主な仕様

品名	スマートフォン
ブランド名	BASIO active2
OS	Android™ 14
サイズ／質量	約 W71×H158×D9.4mm / 約 174g
CPU	Snapdragon® 695 5G 2.2GHz×2+1.8GHz×6
内蔵メモリ	RAM 4GB / ROM 64GB
ディスプレイ	約 5.7 インチ
アウトカメラ	有効画素数 約 5,030 万画素 CMOS
インカメラ	有効画素数 約 800 万画素 CMOS
Wi-Fi®	IEEE802.11a/b/g/n/ac
Bluetooth®	Ver.5.1
バッテリー容量	4,000mAh※1
防水／防塵／耐衝撃	IPX5・IPX8／IP6X／MIL-STD-810H※2
生体認証	顔認証(マスク対応)、指紋認証
その他の機能	おサイフケータイ®／NFC

※1 実際に使用できるバッテリー容量は異なる可能性があります

※2 米国防省が設定した MIL-STD-810H に準拠した独自の試験を実施。すべての衝撃に対して保証するものではありません

●「BASIO」は KDDI 株式会社の登録商標です。

●Google、Android、Google Play、YouTube、およびその他のマークは、Google LLC の商標です。

●Qualcomm 及び Snapdragon は Qualcomm Incorporated の商標または登録商標です。

●その他記載されている製品名などは各社の商標または登録商標です。

### ■端末価格

一括 52,800 円、24 回払い 2,200 円／月、48 回払い 1,100 円／月（税込）

#### JCOM 株式会社について

JCOM 株式会社(ブランド名 J:COM、本社：東京都千代田区)は、1995 年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの 11 社 65 局を通じて約 568 万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電気、ホーム IoT 等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約 2,242 万世帯です。番組供給事業においては、14 の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IP マルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。

※世帯数は 2024 年 3 月末現在の数字です。

#### J:COM のサステナビリティ

J:COM では、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4 つのマテリアリティと、さらに具体化した 12 のサブマテリアリティを 2023 年度に再設定しました。

#### <本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「安心安全で持続可能な地域社会への貢献」 サブマテリアリティ:「安心安全な街づくり」



自治体・パートナーと連携し、日ごろの備え、発災時の災害情報発信、復興支援まで災害から地域を守る活動を実施し、また、警察署などと連携して特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の被害防止に関する活動を推進します。防災・減災・防犯に関する取り組みを通して安心安全な街づくりへ貢献していきます。

マテリアリティ:「心地よく心を動かすサービスの提供と企業価値の向上」 サブマテリアリティ:「暮らしのデジタルイノベーション」



デジタル技術を活用したイノベーションへの取り組みを行うとともに、サービスをより快適に使っていただくための CX 向上に努め、すべての人が心地よい暮らしを実現できるサービスを提供します。